

『アート とともだち』

美術館訪問鑑賞活動を支援する教材開発

1. 概要

学校の先生が子どもたちと一緒に地域の美術館を訪れ、実施する“主体的、対話的芸術鑑賞授業”の学習モデルとして、教材『アート とともだち』を開発しました。美術館で子どもたちは、アートと出会い、鑑賞活動を通して、感性や想像力、コミュニケーション能力を育むことが知られています。アートに触れる機会を増やすことで、鑑賞を通して多様性を理解する力を養うことも期待されます。ともだちと仲良くなるようにアートと向き合ってもらい、仲間とアートについて話し合う楽しさを味わってほしい、という思いを教材名に込めています。

本教材は、美術館訪問を想定した4部構成（美術館鑑賞の事前学習、事後学習、発展的活動）からなり、ワークシートと鑑賞ルーペを中心としたサポート教材です。ワークシートには美術館訪問前の主体的な鑑賞を促すワクワク感を高める質問や、事後学習での見て、学んで、感じたことを、友だちに発表し、そして、意見を聞く対話を楽しむきっかけとなる質問を入れています。全国の教育現場での活用を想定し、ワークシートをウェブサイトからダウンロードできるように、ウェブ教材を作成しました。

『小学校学習指導要領』（第2章第7節 図画工作）に基づき、1）児童や学校の実態に応じて、地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりすること、2）感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動を充実すること を考慮し、社会科学習等で美術館を訪れる機会が多い小学校中学年を対象に教材を開発しました。

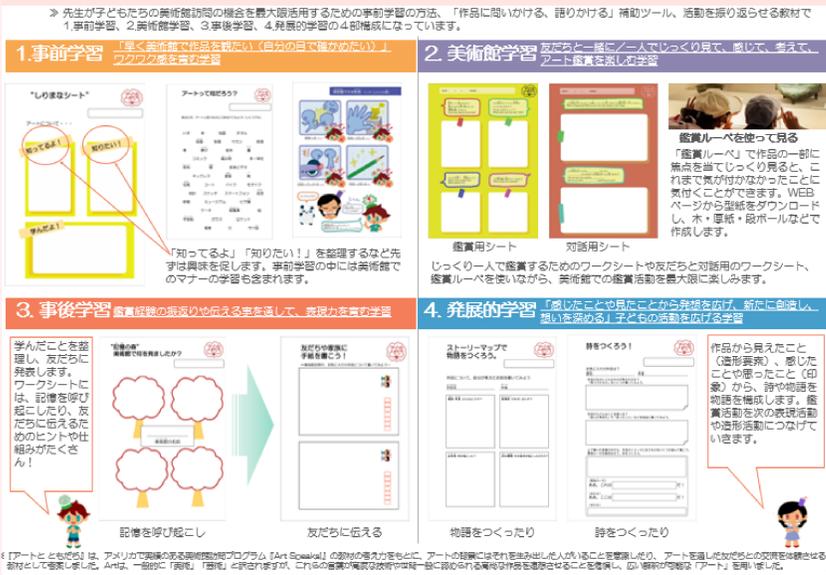


図1 4部構成の詳細 (参照URL <https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/artomo/works/102/>)



図2 『アート とともだち』ウェブ教材トップページ <https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/artomo/>

2. 開発経緯

本教材の研究の背景には、積水ハウス株式会社CSR部美術館事業部が展開する「絹谷幸二 天空 美術館」での大阪市立小学校の鑑賞実践の取り組みがありました。ここでは、専門知識を持つ講師が対話型鑑賞による事前指導を行うことで、有効な鑑賞学習が実践されていました。美術館での鑑賞学習前に学内で事前学習の充実が重要であることを再認識する一方、ファンリレーションの方法や、事前に見せる作品の選択など、鑑賞教育の経験が浅い教員にとっては「その有効性を理解していても取り組むまでのハードルが高い」という課題が見られました。このような状況に鑑み、先生方が美術館訪問の機会を活用し、事前学習に取り組むことが出来るような教材の開発を目指しました。

アメリカで実績のある美術館訪問プログラム『Art Speaks!』を参考に、美術館鑑賞の事前学習、事後学習、発展的活動をワークシートを活用し進めていく教材パッケージの開発、美術館紹介ボードの作成を行い、本教材に取り入れるものを検討しました。特に、子どもの想像力を引き出す有効性の確認されている質問項目（観察、比較、証拠にもとづいて明確な意見を述べる力を育てるような問い、子どもたちが視覚から直接とらえたものを基に、理解、発想したことを言葉で表現する問い、制作者の意図などに着目させる問い）を参照し、また、鑑賞活動において一人一人が主体的に鑑賞する（＝作品に関わる能力を発揮する）ための方法として、「作品に問いかける、語りかける」補助ツールの開発を計画しました。細部を見たり、ものを見ようとする「わくわく感」をもたせる木製の「鑑賞ルーペ」を考案し、美術館で使用し検証しました。

教材開発は、大阪教育大学美術教育コース学部生、積水ハウス株式会社CSR部の協力を得て、絹谷幸二天空美術館での実践、検証のもとに取り組みました。



図3 『アート とともだち』教材

3. 事例紹介

本教材を、附属学校（特別支援学校、平野小）及び大学講義「図画工作科教育法・図画工作・造形表現B」、その他美術館、企業、自治体での実践で使用しました。

(表1参照) 実践事例の内容は、『アート とともだち』ウェブサイトの教材活用実績ページ (<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/artomo/works/>) に掲載しています。



図4 美術館での教材活用の様子

図4 教材活用実績ウェブサイト

表1 事例一覧

実施日	事例タイトル等	実施場所
2020年 8月 5日	絹谷幸二 天空美術館でのワークショップ	絹谷幸二 天空美術館
2020年12月23日	附属平野小学校未来そうぞう科授業「『木のおもちゃ』と『いろいろ見たくなるルーペ』のおはなし」	附属平野小学校
2021年 6月26日	Rethink my town with ARTGUSH-鑑賞ルーペを作って使う美術館鑑賞-	大阪府和泉市エコール和泉和泉市久保記念美術館
2021年11月13, 14, 23日	対話型鑑賞ワークショップ	絹谷幸二 天空美術館 (大阪市淀川区役所協賛、子どもウェルネス創出事業化コンソーシアム共催)
2021年11月26日	「視点」について考える授業	兵庫県立明石南高等学校
2021年 5月28日	「美術館を楽しむ」大阪教育大学公開講座in天空美術館	絹谷幸二 天空美術館
2022年 6月12日	「アート とともだち」実践ワークショップ	絹谷幸二 天空美術館
2022年 7月16~18日	“JTの森”の間伐材から産まれた鑑賞ルーペ`色や形の新たな世界を発見! Rethink!`	うめきた外庭SQUARE
2022年 8月 8日	「どこでもできる森林ESD」 東部社会科研修会	河内長野市
2022年 9月~10月	附属特別支援学校小学部「鑑賞ルーペ」を使用した図工科デザインの授業	大阪教育大学附属特別支援学校
2022年10月 5日	附属平野小学校児童柏原キャンパス校外学習	大阪教育大学柏原キャンパス
2022年11月14日	「アートとは？」授業	兵庫県立明石南高等学校
2023年12月 2, 3日	覗いてみつけよう! 『妖怪ルーペ』~妖怪型~	堺区・開口神社 (沙界妖怪芸術祭)
2023年 2月 2, 3日	ダ・ヴィンチ講座「観察の眼 発見の芽」	金沢21世紀美術館

4. 今後の展望

ウェブ教材としての発信や、キッズデザイン賞の受賞など、教材をより広く周知するきっかけを模索してきました。この教材の利用者と一緒で、少しずつバージョンアップしていきたいと考えています。

2023年2月に実施した金沢21世紀美術館での展開では、新しく「科学教育とのコラボレーション」を実現できました。もともとは、小学校中学年を対象に開発した本教材ですが、支援学校や高等学校を始め、年齢を問わず一般市民の方にも、その活用を提案してきました。「使う人によってアレンジできる」教材であることを示しつつ、今後はさらにより広く、いろいろな場での利用を促進し、その活動をウェブサイト上で発信していきたいと思っています。本教材の活用事例（実践報告）を共有していくことで、「新たな発見」「見え方が変わってくる」など、鑑賞活動から広がる可能性、活用方法を探っていくことを、附属学校や地域の学校の子どもたちや先生方に広く発信し、鑑賞教育の実践を連携し模索していきたい、と考えています。

5. 参考資料・URL

- トピック記事 2022.03.04 子どもの美術館鑑賞を支援するウェブ教材「アートとともだち」を開発 | 国立大学法人 大阪教育大学 ([osaka-kyoiku.ac.jp](https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/))
- トピック記事 2021.01.15 青木特任准教授「『木のおもちゃ』と『いろいろ見たくなるルーペ』のおはなし」 附属平野小学校が「未来そうぞう科」で大学教員と「未来をそうぞう」する特別授業を実施 | 国立大学法人 大阪教育大学 ([osaka-kyoiku.ac.jp](https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/))
- トピック記事 2023.02.20 産学連携で開発したウェブ教材の受賞報告に学長表彰 | 国立大学法人 大阪教育大学 (1).pdf
- トピック記事 2022.12.20 附属小学校児童が柏原キャンパスで美術の校外学習 | 国立大学法人 大阪教育大学 ([osaka-kyoiku.ac.jp](https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/))
- 美術館鑑賞教育教材『鑑賞ルーペ』の開発 <https://onac-ir.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/webonac/TD00032190>
- 「教材解説書(初版)」, 「『アートとともだち』鑑賞ルーペ紹介動画等 大阪教育大学 美術・書道教育コース ([osaka-kyoiku.ac.jp](https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/))
- 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」2019年度 連携型共同研究 成果報告書 『美の力、芸術力によって、人を元気にする』実践と研究~鑑賞における技術とは~ 20aoki_2019shokoku.pdf ([diversity-oows.in](https://www.diversity-oows.in/))
- 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」2020年度 連携型共同研究 成果報告書 美術鑑賞教材『アート とともだち』を用いた教育の実践と検証 2020renkei_14_Aoki.pdf ([diversity-oows.in](https://www.diversity-oows.in/))
- 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」2021年度 連携型共同研究 成果報告書 図画工作科・美術科教材のWEBモデルの構築 -美術館鑑賞教材をモデルとして- 2021renkei_watanabe.pdf ([diversity-oows.in](https://www.diversity-oows.in/))
- 東北コミュニティ2021.08.27 「『東北』小学生に地元アート、和泉中央から『美術散歩』 久保型と大阪教大が企画/和泉市」 東北・金剛さやまコミュニティ ([sencomi.com](https://www.sencomi.com/))
- 毎日新聞 2022.04.05 大学倶楽部・大阪教育大: 子どもの美術館鑑賞を支援するウェブ教材「アートとともだち」を開発 | 毎日新聞 (mainichi.jp)
- ドットコムおさか 2022.09.16 「対話型鑑賞ワークショップ ~アートとともだち~」 <https://urldefense.com/v3/https://dch-osaka.com/workshop-20220908-ken/>

6. 謝辞

本研究は、下記の受託研究および共同研究の補助金により実施しました。

- ・積水ハウス株式会社CSR部委託による受託研究「コミュニケーション力向上に向けた美術館を活用した美術鑑賞教育プログラム開発」 2019
- ・文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」2019-2022, 「『美の力、芸術力によって、人を元気にする』実践と研究~鑑賞における技術とは~」/「美術鑑賞教材『アート とともだち』を用いた教育の実践と検証」/「図画工作科・美術科教材のWEBモデルの構築 -美術館鑑賞教材をモデルとして-」/「ウェブ教材を用いた美術教育実践データの収集と検証-美術鑑賞活動の行動記録をもとにした経験の共有を中心に-」
- ・2020~21年度、大阪教育大学美術・書道教育部門と日本たばこ産業株式会社 (JT大阪支社) との共同研究